

第六次白石市総合計画・地域づくり計画【白石地区計画(令和8年度～令和12年度)】

テーマ:【白石東】協力しあって住みよいまちにするコミュニティをつくろう!
 【白石西】災害への備えと安心して暮らせる良好な住環境のあるまち

基本方針	具体的な取り組みの方向性	事業実施年度					備考
		R8	R9	R10	R11	R12	
1. ●水害をはじめとした災害への備えを整備・充実させ、安全・安心に暮らせるまちにします。【白石東】 ●すべての世代が参画・協力しやすい方法で地域活動を行い、常日頃から災害への備えが整っているまちにしていきます。【白石西】	① 既存の活動に災害への備えにつながる要素を組み込むなど、安全・安心に暮らせるコミュニティづくりを進める。	■	■	■	■	■	重点施策
	② 地区内の多様な団体・組織等が、常日頃から連携・協働する体制・仕組みを整える。	■	■	■	■	■	
	③ 住民同士のコミュニケーションの密度が高まる地域活動を積極的に応援する。	■	■	■	■	■	
	④ 若者・中堅世代が地域活動の運営に関する知識を学ぶ機会を設けるとともに、その担い手となる力を身につけられるような実践的な場を提供する。	■	■	■	■	■	
2. ●日常的な交流・近所づきあいがあり、お互いに支え協力しあうコミュニティのあるまちにします。【白石東】 ●次世代が地域活動に参画しやすい仕組みを整え、利便性が高く良好な住環境がこれからも維持されるまちにします。【白石東】 ●生活利便性のさらなる向上を図り、安心して暮らしつづけられる良好な住環境をこれからも守っていきます。【白石西】	① 快適で美しく、希望と安心感のある地区の暮らしを、住民が積極的に参加・参画して維持・保全する自治力を育む。	■	■	■	■	■	重点施策
	② 若者・中堅世代が主体となって進める地域活動を、積極的に応援する仕組みをつくる。	■	■	■	■	■	
	③ 多様な世代の住民が気軽に交流できる場・機会を身近に増やしていく。	■	■	■	■	■	
	④ 地域のさまざまな問題・課題に対して、対話を通じて考え、解決していくための機会を設ける。	■	■	■	■	■	
3. ●子ども・若者に地域の伝統・文化を継承する取り組みを積極的に進め、地域行事等に参加しやすいコミュニティをつくっていきます。【白石東】 ●城下町白石としての風情・伝統・文化と、きれいな水・美しい自然を守りながら、活気あふれる魅力的なまちにいきます。【白石西】	① 地区の伝統・歴史財を守り・持続的に継承する取り組みを生み出し、地区の魅力を高める。	■	■	■	■	■	重点施策
	② 地域の歴史・文化・伝統産業を活かした新たな取り組みを生み出し、地区の魅力を高める。	■	■	■	■	■	

第六次白石市総合計画・地域づくり計画【越河地区計画(令和6年度～令和10年度)】

テーマ:「こすごう」という名の大家族、世代を超えてつながりあうまち、越河!

基本方針	具体的な取り組みの方向性	事業実施年度					備考
		R6	R7	R8	R9	R10	
1. 世代を超えて対話する機会を積極的に設け、お互いに意見を尊重しながら、地域の担い手を育てていきます。	① 地区の伝統文化やものづくり等を伝える世代間交流の機会を増やしていく。						
	② 地区の歴史等を紐解きながら世代間のつながりの機会を増やしつつ生涯学習を充実させる。						重要施策
	③ 花いっぱい運動を展開し、若い世代に積極的に声をかけお互いの考えや意見を尊重した機会を整えていく。						重要施策
2. 公民館事業の充実や小学校等の活動への参加・協力などを通じて、世代を超えて交流しあえる地域にしていきます。	① 公民館運営の仕組みを更新し公民館事業の充実を図っていく。						
	② 各団体との連携を図ることにより公民館事業をより充実させ健康増進を図っていく。						
	③ 学校との連携を深め、住民による諸活動を通じて交流を盛んにしていく。						
	④ 子育て世代の交流を支援し、明日の越河の担い手を育てていく。						重要施策
3. 人と人のつながりを強め、高齢になってもいきいきと安心して生活できる環境を整えていきます。	① 地区住民が「心配り」「心配り」の視点で日頃から高齢者等を手助けしていく。						
	② 越河に暮らし続けられるよう、通院や買い物など交通弱者の自宅からの移動手段を確保し整備していく。						重要施策
	③ 耕作放棄地を活用した花畑や小公園等を整備し環境美化を推進する。						
	④ 空き家の活用方法を検討し居場所づくりを具現化していく。						

第六次白石市総合計画・地域づくり計画【斎川地区計画（令和4年度～令和8年度）】

テーマ：絆とつながりをさらに強め、持続可能なまち「斎川」を育む

基本方針	具体的な取り組みの方向性	事業実施年度					備考
		R4	R5	R6	R7	R8	
1. 住民同士のコミュニケーションをもっと密にし、隣近所でのささえあいと若者・中堅世代の地域参画が、日常的にある仕組みを構築していきます。	① 幅広い世代が気軽に集い・交流できる場・居場所をつくる。	[Progress bar from R4 to R8]					重点施策
	② 住民が関心が高まる情報を、効果的・効率的に発信・伝達していく。	[Progress bar from R4 to R8]					
2. 空家や耕作放棄地の増加を抑制し、次世代が住み続けたいと思える環境を維持していきます。	① 空き家・遊休農地の実態を、地区独自に調査・把握する。	[Progress bar from R4 to R5]					重点施策
	② 農作物の鳥獣被害対策を、研究・実施していく。	[Progress bar from R4 to R8]					
	③ 体験等を通じて農業の魅力を若者に伝える。	[Progress bar from R8 to R8]					
	④ 外から人を呼び込めるような耕作放棄地の有効活用を検討していく。	[Progress bar from R6 to R7]					
3. 農作業や趣味・小商いなどで毎日が充実し、健康的に暮らしつづけられる地域にしていきます。	① 住民が主体的に取り組む新たな事業やコミュニティビジネスなどを、地域ぐるみで支援・後押しする。	[Progress bar from R5 to R8]					
	② 多様な住民の参加・協力を得ながら、産直センターの有効活用を図る。	[Progress bar from R4 to R6]					重点施策
4. 地域のさまざまな課題に対し主体的に行動を起こせるよう、斎川公民館を核としたコーディネート機能の拡充を図ります。	① 各団体の活動や有している情報を共有し、お互いの連携を強化していく機会・仕組みをつくる。	[Progress bar from R6 to R8]					
	② 課題解決や住民が必要とするテーマ（ICTスキルなど）の学習会を充実させる。	[Progress bar from R4 to R6]					重点施策
5. 「甲冑堂・桜の回廊」等の史跡やこころ柿づくりなどの伝統文化を大切に、次の世代に継承していきます。	① 斎川お宝マップを活用したまちあるきを推進し、イベント等を企画・実施する。	[Progress bar from R4 to R6]					重点施策
	② 歴史的資源を継続して維持・管理していくための方法を検討する。	[Progress bar from R7 to R8]					
	③ 伝統文化を継承する取り組みを、継続・充実させていく。	[Progress bar from R4 to R8]					

第六次白石市総合計画・地域づくり計画【大平地区計画(令和8年度～令和12年度)】

テーマ:豊かな暮らしをささえる環境とコミュニティのあるまち大平

基本方針	具体的な取り組みの方向性	事業実施年度					備考
		R8	R9	R10	R11	R12	
1. インフラ整備が進んでいっても、豊かな田園風景を守りつづけるコミュニティをつくっていきます。	① 農地や里山を安心して活用できる取り組み(有害鳥獣対策含む)を進める。		▶				
	② 道路美化や道の駅周辺に整備される公園の利活用など、住環境の保全・充実に取り組む。	▶					重点施策
	③ 生活インフラの格差解消を進める。	▶					
2. すべての世代が、地域活動に積極的に参加できる多彩な場・機会のあるまちにしていきます。	① 既存の組織・役職について役割・重複を整理し、幅広い住民が参画できる自治の仕組みに再編する。	▶					重点施策
	② 誰もが楽しめる工夫を施した活動を増やし、SNSの活用などにより住民向けの情報発信をより充実させる。	▶					
3. 子どもたちの声・息づかいが至るところで感じられ、若者が定着するまちにしていきます。	① 魅力ある地域をめざして、公民館や道の駅、地区集会場を活用した子育て支援の取り組みを増やす。		▶				
	② 子ども・若者たちが企画を考える場を積極的に設け、それらの実現を後押しする。	▶					重点施策
4. 高齢者が健康でいきいきと暮らしつづけられるまちにいきます。	① 身近なところで集い、楽しく過ごせる場や機会を増やしていく。		▶				
	② 移動が困難な人への支援や健康相談などが身近でできる取り組みを進める。				▶		

第六次白石市総合計画・地域づくり計画【大鷹沢地区計画（令和6年度～令和10年度）】

テーマ：豊かな自然・歴史文化を継承し、共に支え合い、住民が楽しく集える地域をつくりまします。

基本方針	具体的な取り組みの方向性	事業実施年度					備考
		R6	R7	R8	R9	R10	
1.若者が地域で活躍できて、そして、住みたくなるような地域を目指します。	① 子どもたちが交流できる事業や場づくりを行う。	▶					
	② 若者世代が自主的に企画したまつりなどの事業の実現を、地域全体で支援する。	▶					
	③ 子どもたちや高齢者など交通弱者が地域事業等に参加できるような移動支援を検討する。	▶					
2.山林・農地を守り、災害に強く助け合う地域をつくりまします。	① 共同作業やボランティア活動を進める。	▶					
	② マップを作成し、危険区域の再確認や防災の対策を行う。	▶					重点検討
	③ 農山地等を利活用した、特産品などを学ぶ。	▶					
3.地域の歴史と資産を伝え活用し、子どもから高齢者までが一緒に学び合いを進めます。	① 歴史ある『団七踊り』の体験などを通し、学び、再認識して、魅力を地区内外に伝えていく。	▶					
	② 高齢者などから地域の歴史や史跡の話を聞くツアーなどを企画し、実際に足を運んでもらい、歴史文化や名所を継承する。	▶					
4.あいさつで顔がみえる地域コミュニティを育み、住民同士のつながりやきずなを深めます。	① 多くの人が地域活動に参加できるように、呼びかけ方などを検討して実践する。	▶					
	② 住民同士のつながりをつくり、深めるための事業を検討、事業の振り返りを行う。	▶					
5.大鷹沢の魅力が地区内外に積極的に発信し、地域の活性化に繋がります。	① SNS・HP・パンフレット作製などを検討し、若者中心に地区内外に発信する。	▶					重点検討

第六次白石市総合計画・地域づくり計画【白川地区計画(令和6年度～令和10年度)】

テーマ:安心して、笑顔あふれる白川であるために!!

基本方針	具体的な取り組みの方向性	事業実施年度					備考
		R6	R7	R8	R9	R10	
1. 世代を超えた人の交わりで安心して暮らせる白川をつくります。	① 老若男女が興味を持つような参加交流型の事業を検討し、若い人や転居者にも積極的に参加への呼びかけを行う。						重点施策
	② 各行事や事業・組織・計画のふりかえりと見直しを行い、若手も参画し意見を取り入れる。小学校・中学校・公民館の連携を図っていく。						
2. 高田川の清流を守り、自然豊かな白川をつくり、若い世代に伝えます。	① 高田川沿いの一斉美化活動を継続して、若い世代と交流を図りながら、美しい高田川の景観を次世代へ繋げる。						
	② 親子・家族でも参加できるような、遊びや学びを大切に高田川を活用する事業を企画し、住民が楽しく高田川にふれ合える機会をつくる。						
3. 地区のイベントを通じて、地域全体で子育てができる白川をつくります。	① お祭りや親子のふれあい遊びなどを計画し、子どもと地域住民が交流できる場、イベントを継続していく。						重点施策
	② 多くの子供が参加・体験できるように、委員会を作って、子ども参加型のイベントを企画していく。						
	③ 子育て世代の日常の困りごとや思いを把握しながら、子どもの放課後の居場所や見守り等の支援を検討する。						
4. 人と人とのつながりを深め、助け合う白川をつくります。	① 住民が困りごとなどを気軽に相談できる環境を整える。						重点施策
	② 高齢者などが日常支援を気軽に利用できるように、住民同士で支えあえる仕組みづくりを検討する。						
	③ 白川で安心して暮らしていけるように、高齢者など交通弱者の移動支援の体制を検討する。						
5. 尊い生命の産業である米づくりを絶やさない白川をつくります。	① 地域住民の参加・協力を得ながら田植えから収穫までの米作りを、小学校や地区の行事として継承していけるように検討する。						
	② 白川米の付加価値をつけるために、米作りをしている人の情報発信などのPRを地域全体でサポートする。						

第六次白石市総合計画・地域づくり計画【福岡地区計画（令和7年度～令和11年度）】

テーマ：つながりを大切にした安心安全な地域づくり

基本方針	具体的な取り組みの方向性	事業実施年度					備考
		R7	R8	R9	R10	R11	
1. 住民同士の絆を深め、お互いに助け・ささえあいながら、安心・安全に暮らせる地域にします。	① 共助や災害への備えにつながる要素を組み込みながら、すべての世代が交流する場・機会を生み出す。			▶			
	② 地域での暮らしの安全性と安心感を高めるために、自治会の枠を超えた共助活動を創造する。	▶					重点施策
2. 交流を積極的に進めながら、若者・中堅世代が地域活動に参加しやすい環境をつくりまします。	① 世代間の交流を促進させるための情報発信・周知・共有の仕組みをつくる。		▶				
	② 若者・中堅世代が地域活動に参加・参画しやすい機会（=入口）を増やす。	▶					重点施策
	③ 小さなコミュニティづくりを牽引するリーダーを育成する。		▶				
	④ 既存の活動・事業・組織を見直し、持続可能な仕組みに再編する。					▶	
3. 自然や歴史などの地域の宝を大切に、各地区の特色ある活動がこれからも営まれ続ける地域にします。	① 地域の自然や歴史などの情報を、インターネットなどで入手できるような環境を整える。				▶		
	② 若者の意見を取り入れ、地域への興味・関心・地元愛を高める取り組みを推進する。			▶			

第六次白石市総合計画・地域づくり計画【深谷地区計画（令和7年度～令和11年度）】

テーマ:利便性と安全性の高い住みよいふるさと・深谷

基本方針	具体的な取り組みの方向性	事業実施年度					備考
		R7	R8	R9	R10	R11	
1.すべての世代にとって生活の利便性と安全性が高い、住みよい地域にしていきます。	① 気軽に参加できる交流の場を設け、地区住民同士が顔見知りになる機会を増やす。	[Progress bar from R7 to R11]					重点施策
	② 安心感を高める仕組み・設備を整え、住民交流も兼ねた防災の取り組みを進める。	[Progress bar from R8 to R11]					
2.交流から世代間のつながりを生み出し、隣近所での助け合いが日常的にある地域にしていきます。	① 共同作業やイベントは幅広い世代の住民が参加・参画する仕組みにして実行する。	[Progress bar from R7 to R11]					重点施策
	② 着実に情報が周知されるよう、ICTを活用した情報伝達の仕組みを整える。	[Progress bar from R9 to R11]					
3.これから地域を担う人たちのための仕組みを整え、若者が地域に定着する環境のある地域にしていきます。	① 子どもの頃から日常的に地域活動に参加する仕組みを整えると共に、幅広い世代が楽しみながら参画する活動を増やす。	[Progress bar from R7 to R11]					重点施策
	② 深谷地区内外の小中高校世代が主体的に考えた企画を、地域ぐるみで実現に向けてサポートする。	[Progress bar from R8 to R11]					
	③ 若者・中堅世代の「やりたい」を、地域ぐるみで応援する仕組みを整える。	[Progress bar from R10 to R11]					
	④ 負担を軽減し、誰もが地域の役を担えるような仕組みに再編していく。	[Progress bar from R10 to R11]					

第六次白石市総合計画・地域づくり計画【小原地区計画（令和4年度～令和8年度）】

テーマ：暮らしを支える密なつながりと持続可能な仕組みのある里づくり

基本方針	具体的な取り組みの方向性	事業実施年度					備考
		R4	R5	R6	R7	R8	
1. 次世代にしっかりとバトンを渡せるよう、持続可能な地域運営のあり方・仕組みを構築していきます。	① 既存の行事・組織の見直しを進め、地域運営に関する体制・仕組みを再編する。	[Progress bar from R4 to R8]					重点施策
	② 若い世代や転居者に対して積極的に声をかけ、各々の都合を十分に配慮した参画の機会を整える。	[Progress bar from R6 to R8]					
	③ 人口の推移やイベント参加者数などのデータを、随時、地区住民で共有できる広報体制を整える。	[Progress bar from R4 to R8]					
2. 隣近所・住民同士のつながりをもっと密にし、お互いの助け合いと交流が日常的にある、健康寿命の長い地域をめざします。	① 健康維持のための脳トレや各地区でのふれあいサロンをさらに充実させると共に、サロン相互の連携・交流を推進する。	[Progress bar from R4 to R8]					重点施策
	② 検断屋敷まつりや柿渋づくりなど、日々の暮らしから培われたものづくりの技能・文化を伝える多世代交流の機会を増やす。	[Progress bar from R4 to R8]					
	③ 共同作業等の人手不足を補うために、おたがいさまの精神で他地区の住民が作業を手伝う仕組みを検討・実行する。	[Progress bar from R6 to R8]					
3. 移動手段や通信環境など、日々の暮らしを支える生活インフラの整備・充実を図っていきます。	① 簡易水道の維持管理に向けた体制を整備し、持続可能なあり方を検討する。	[Progress bar from R4 to R8]					重点施策
	② ICT基盤を有効活用していくための勉強会を実施する。	[Progress bar from R4 to R8]					重点施策
	③ いつまでも小原に暮らし続けられるよう、交通弱者のための移動手段の確保や、手軽に買物ができる場・機会を整備する。	[Progress bar from R6 to R8]					
4. 小原小中学校を核に、世代を超えた交流・活躍の場を生み出しながら、郷土愛と地域を担う人材を育てていきます。	① 学校の年間行事を地区全体で共有し、住民による授業参観や行事参加等の機会を増やす。	[Progress bar from R5 to R8]					
	② 地区外から通学する子供の保護者と地区住民が交流する機会を積極的に設ける。	[Progress bar from R4 to R8]					重点施策
	③ 住民がゲストティーチャーとなって、地域のことを子どもたちに伝える機会を増やす。	[Progress bar from R4 to R8]					